

次期多賀城市都市計画マスタープラン策定に向けた都市づくりの課題

「都市計画マスタープラン」とは、市民のみなさまの意見を反映しつつ、まちづくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、あるべき「まち」の姿を定めるものです。

現在本市では、令和6年度からの新しい都市計画マスタープランの運用開始に向けて、策定の準備を進めています。

本市の現況

- 多賀城駅周辺に多様な都市機能が集積している
- 古代多賀城の歴史的遺産が点在して残っている
- 新しい市街地の形成が進んでいるが、市の西部や北西部においては良好な自然環境が保全されている
- 防災・減災対策の推進・継続が必要
- 少子高齢化の進行・人口減少への対応
- 計画しているインフラはおおむね整備されているが、道路の老朽化が懸念される

本市を取り巻く社会動向

- 地域資源を活かした交流の促進・拡大
- 緑豊かで魅力的なまちづくりの推進
- 自然災害の頻発化・激甚化
- ウォークラブルなまちづくりの推進
- 人口減少・少子高齢化の進行
- DXの推進
- 公共施設・インフラの老朽化
- 公民連携・民間活力の活用
- 環境配慮の取組の推進
- 財政の緊迫化

都市づくりの課題（骨子案）

本市の方針：「整備」から「活用」へ

- 視点1：都市個性** ○本市の魅力的な地域資源の有効活用
- 視点2：都市防災** ○豪雨による災害の頻発化・激甚化への対応
- 視点3：都市活力** ○子育て世代の定住促進・交流人口の拡大
- 視点4：都市生活** ○良好な居住環境の維持・改善
- 視点5：都市経営** ○公共施設、インフラの維持管理費・更新費の増大

その他 具体的に検討される事項等

- 都市計画道路の見直し事業、東北学院大学工学部跡地等の土地利用の方針の検討 など